

令和元年度

橋梁技術発表会

及び 講演会

参加費
無料定員
350名申込
先着順

第1部

13:00～13:10

開会の辞

(一社)日本橋梁建設協会 副会長 吉崎 収

13:10～13:50

① 東西水路横断橋(仮称)

多軸台車と台船を使用した大ブロック一括架設

～架設重量7000tを超える大型地組ブロックの
ロールオンと台船架設について～架設小委員会
折戸 宏行

技術発表

13:50～14:30

② 動き出した鋼橋の大規模更新

～床版取替え工事における床版形式の選定から維持管理まで～

床版小委員会
桐山 忍

14:30～14:40

休憩

14:40～15:20

③ トルコ共和国 第1ボスポラス橋の保全工事報告

～長大吊橋の大規模保全～

海外事業委員会
杉村 誠

15:20～15:35

休憩

第2部

特別講演

15:35～16:35

東北地域の社会資本の整備・管理
に関する動向

国土交通省東北地方整備局 企画部長 西尾 崇

16:35～16:40

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行委員会 委員長 上原 正

日時

令和元年 10月25日(金)
13:00～16:40

資料配布

論文およびPPTのpdfは事前にHPにアップ致しますので、必要に応じて出し持参願います。

会場

仙台国際センター2F

仙台市青葉区青葉山無番地

【アクセス】



●仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」下車 徒歩1分

申し込み

ホームページ(URL) <https://www.jasbc.or.jp/>
受付は令和元年9月13日～10月11日
※申し込みは、HPのみです。

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 東北事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
(東京建物仙台ビル) 川田工業内 TEL.022-262-4855

継続教育

CPDS認定予定

開催地区

- 東京地区: 10月 4日(金) ● 東北地区: 10月25日(金)
 - 中部地区: 10月11日(金) ● 北海道地区: 11月 1日(金)
 - 大阪地区: 10月16日(水) ● 九州地区: 11月 8日(金)
- (6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

① 東西水路横断橋(仮称) 多軸台車と台船を使用した大ブロック一括架設

本橋の架設地点である東西水路は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での使用が計画されています。この幅約200mの水路に支間長約250mの鋼単純ニールセンローゼ橋を大ブロック一括架設しました。

大ブロックは架設地点傍のヤードで地組し、架設作業は多軸台車を用いたヤード移動、台船へのロールオン、水路内移動、台船バラスト調整と潮位を利用した架設作業、架設後の降下作業までを約1週間かけ実施しました。

本発表では大ブロック一括架設の移動から降下まで一連の作業について報告します。

② 動き出した鋼橋の大規模更新

鋼道路橋の鉄筋コンクリート床版(以下RC床版)は、開通から30年以上経過したものも多く、当時の設計基準により設計・施工されているものは、現在の基準に適合するように補強を行なながら供用しています。また、塩害・凍害等の材料劣化や車両荷重・交通量の増大により、複合的に劣化が促進される場合があり、進行すれば陥没等の大きな損傷が発生します。このため、多くの路線で更新工事が立案・実施されています。

RC床版の取替え工事は、架橋地点の施工環境や橋梁の構造形式により様々な制約条件があり、それぞれの条件に応じて施工員や取替え床版の形式を選定する必要があります。また、限られた時間の中で行うことが多く、必要な工種を把握し、入念な施工計画を立案する必要があります。このため、橋建協ではRC床版の取替え施工を行う際に利用できる「床版取替え施工の手引き」を発刊しました。発表会では、手引きに沿って床版取替えの概説を分かり易く発表します。

③ トルコ共和国 第1ボスポラス橋の保全工事報告

近年、長大吊橋の老朽化が世界的に問題視されています。トルコ共和国・イスタンブル市に建設された第1ボスポラス橋も建設後45年が経過しており、健全度調査の結果、ケーブル等に経年による劣化が確認されたため、損傷箇所の補修と長寿命化を目的とした大規模保全工事が2014年から2019年まで行われました。

発表では、世界的にも例のない第1ボスポラス橋のハンガー取り替えや主ケーブル補強、送気乾燥システムの導入について紹介します。

特別講演会 講演者紹介

講演テーマ

国土交通省 東北地方整備局 企画部長

西尾 崇

東北地域の社会資本の整備・管理に関する動向

【略歴】

2006年 7月 九州地方整備局 大分河川国道事務所長
2008年 8月 九州地方整備局 道路部 道路調査官
2010年 4月 道路局 ITS推進室 企画専門官
2013年 4月 関東地方整備局 東京国道事務所長
2015年 4月 環境省 中間貯蔵施設チーム 次長
2016年10月 道路局 ITS推進室長
2018年 7月 現職

【講演概要】

東日本大震災から8年が経過しました。復旧・復興事業は建設業関係者の献身的なご尽力のおかげで順調に進捗しています。少子高齢化が進行する中、今後も東北地域に必要な社会資本の整備・管理を継続的に行っていく必要があります。また、頻発化・激甚化する大規模災害に備えるため、東日本大震災の教訓を全国各地の防災力向上に役立てることが望まれています。

このような観点から、今後の東北地域の取り組みについて解説します。

令和元年度

橋梁術発表会

東北地区

10月25日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。